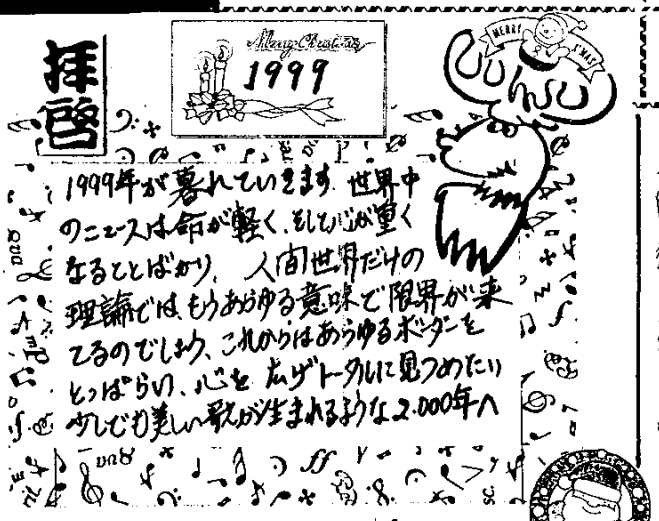
PICKIN' SINGIN' Rocky Top GINZA かわら版 第49号

'99, 12, 1 発刊

Yeah! マネージャーNo.8 ～チャック全国放事件の巻～

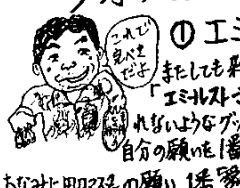
作. チーフ井上

拝啓



1999年が暮れていきます。世界中のニュースは命が軽く、そしてお金が重くなることばかり。人間世界だけの理論では、もうあらゆる意味で限界が来てるのでしょう。これからはあらゆるボーダーをとっぱらい、心をムゾートゥルに見つめたり少しでも美しい歌が生まれるような2,000年へ

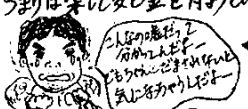
今月の田口マスターの動き



① エミールストーンを購入!

またしても雑誌の裏にあった通販の商品を買ってしまった。その名も「エミールストーン」この石をもってるだけで幸福になれるという小学生でもだまされないようなグッズを我まんならずGetした。4つの石がぶら下がっていて自分の願いを1番から4番まで優先順に選ぶことができるという優れ物だ。

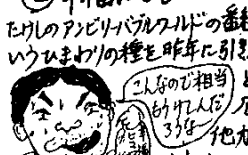
ちなみに田口マスターの願い 1番「愛情」2番「金運」3番「健康」4番「仕事」つまりは楽して愛と金を得ようという魂胆が見え見えだ



← このようにして悩める中年がうぬぼれた意識のもとでお金をだまされてしまうんだろう…

② 幸福になる「ひまわりの種」2年連続購入!

たりしのアンビリーバブルワールドの番組の中で紹介された「持ってるだけで幸福になれる」というひまわりの種を昨年に引き続き今年もまた購入した。



と言うのだが、買ったのはあなた自身です。厄年を乗りこなすお守りのつもりでこの2品を隠し持ち他力本願にすがる田口マスターの今後の動きにまず注目だ! 来年の幸福度はいかに… つづく

チーフ井上のシーカヤック体験記

前から興味があったのが海のカヌー「シーカヤック」にまる1/28(日)三浦半島にて初挑戦した。インストラクターは彼女の弟とりる君(29)。当日は風が強く「台風をむかえてこの一年で最悪の日」と言われる。メンバーは全部で8名。ヤングな学生4人と30代の4人。はっきり言って楽しかった～! 1人でカヌーをこいでると、海面すれすれで海からのいやしをもらい、海岸線は紅葉の林や島たち。すっかり心静かになり、そのまま墨色の中に溶けていってしまった。2人乗りを彼女とこいだが、やはり人に気を使うのはめんどうだし小回りもきかないし。カヌーは基本的にハイロンやんな素物だ。俺に向いてる。すっかりハマって欲しくなってしまった。中古で20万くらい。うーん買いたいな。風が強く、沖の方に出れなかったのが残念だったが、みんなでもんもんなバを食べたり、焼きリンゴを作ったり、俺にしてはポップな一日だった。

カヌーの後、彼女と弟カップルと飲んだ。「井上さんってマイペースで個性的な人ですねー」とよくる君に言われる。それは単に団体行動が嫌いなだけだ。たまに傷である。とにかくシーカヤックは自然と一体になれて本当に気もちいいぜよ。海はもとより間違いなく人の心をリフレッシュさせる太古からのパワーがあるな!

チーフ井上とフォークグリラボーイズ 1st CD「100万回愛してる」リリース

日本語のブルーグラスを追求するフォークグリラボーイズ渾心のファーストCDついに完成しました。「Can'tYou Hear Me Calling?」「Blue moon of kentucky」「White House Blues」などもロングを日本語で、またオリジナルはフォークやロックのテイストを感じさせる曲に仕上がっています。小柳マネージャーの唄「Yeah!ユスケ」も収録。歌詞カードはチーフ井上の手書き。4コマまんがもあります。是非手にして下さい! ロッキーに置いてあります。¥2,500(税込)

12/4(土) ロッキートップ"にて発売記念ライブを行います。共演はあの爆発バンジョー軍団ラルフルズ。ホットな夜になることでしょう。

最近出たCD(ロッキーに置いてある)

- VanQ…1960年代のMFQサウンドを中心としたモダンフォークからオリジナルまで16曲。ちょっぴり洗練されたハーモニー
- ラルフルズ「First」…ラルフスタンレーの魂を受けつぐ今年の結成フェスス人気No.1バンド。5曲が8分で終わる高速サウンド ¥1,260(税込)
- Broken Ashes…ピッチ形成。天才ボーカリスト Shime さんとクイコウォーカーの魅惑のアンサ。カントリーからビートルズまで

・ブルーグラスなカントリーな人達 ～Meet The Bluegress & Country Music～

今回はブルーグラッサーでありカントリーバンドのボーカリストでもある、2つの顔を持つ男 星 勉さん(49)です。今年脱サラをして見る見るうちに反社会的な風貌になっていく様は不良中年爆発! といった感がある。ブルーグラスとは? カントリーとは? プロの本音に迫ってみた! キワード→ハンクか? アダモか?

→音楽の原体験は、ラジオの頃「月がとっても青いから」や「お富さん」をこたつの上で歌いまくっていたこと。昔から明るく、一天気な曲が好きだった。だが子供の頃はおとなしく、引込み思案な性格で、まさか前に歌うようになるとは夢にも思わなかった。しかし小学校4年の時、ハーモニカのうまさを先生に認められ、結成バンドの一員に抜てきされた。コンクールなどに出演し、アコーディオン、木琴など50人の中にまじって「ドナウ川のさざ波」をやったりした。中学に入ると世間はエレキブームだったが当時エレキは不良。よってガットギターを弾く少年が多かった。星さんもその影響でガットギターを買ってもらい、平尾ベンチ別所の指導を見てコードを覚えた。初めて弾いた曲は加川良の「教室」その1」だった。そして高校に入ると、友達に音楽通な奴がいて、ハンク・ウィリアムスをきかせてもらい、カントリーの存在を知る。興味の星さんは、その頃になって初めて自分でレコードを買いに行くのだが、レコード屋さんで悩んだ。どっちを買おうかな～「ハンク・ウィリアムスとアダモ」結局ハンクを選んだのが運命を決めた。そしてハンクを歌い出すのだが当時はブルーグラスという言葉はなくビルモンローもフラット&スクラッグスも同時に日本に流れてきていた。友達と2人でデュエットするには1人のハンクよりスクラッグスやスタンレーの方が良かった。そして大学に入ると本格的にブルーグラスがやりたくなり、サークルの門をたたいた。「僕ブルーグラス、スタンレーとかやりたいんです!」と先輩に言うと、先輩はびっくりした。「新人生でブルーグラスっていった奴が初めてだよ」その頃、部員じゃないのにたまにギターを持って現れ、「いいじゃない、やれば」とかやったのが1つ上の笹部さんだった。そして2年になり、1年をいっぱい入れてバンドを作ろう! とホラでもなんでも吹いて部員を歓迎した。「僕日本のフォークやりたいんですけど」「俺やってるよ」とかいってブルーグラッサーにしたて上げたりした。そこで出会ったのが現ウェストオブザムーンの比企さんだった。バンジョーがやりたかったのに「君はアイドルだな」と転向させたのも星さんでした。そんなこんなで現在までブルーグラスを続けてますが、MCをとり出したのは35才から。とりあえずに歌手だ。近年はトトランジというカントリーバンドを始めた。「どちらが好きですか?」ときくと、「ライフティ ライフティ!」とニンタンした顔で答えてくれました。どちらかの熱のこもり者であることは間違いないのですが、とにかくどちらも続けていきますとの事。これからも下品なMCと上品な歌を期待します。→12/24クリスマス会はウェストオブザムーン! 謎のアカペラクルーブ「ジャムブラザーズ」もやってくるよ

Pick Up Live!

12月はとにかくロッキー恒例のクリスマスウィーク12/19(日)～25(土)まで。ルーレットプレゼントコーナー、そしてじゃんけんコイン総取り大会。今年1年のしめくくり。是非ロッキーで遊んでいって下さい。モダンフォーク、ブルーグラス、カントリーと多彩なメニューで皆様をお待ちしています。よろしくお願いします!